

業務デザイナー機能説明書

ワークフロー要求件数編

目次

ワークフロー要求件数.....	3
グループウェア連携とは.....	3
ワークフロー要求件数画面.....	6

ワークフロー要求件数

グループウェアソフトと業務デザイナーを連携することで、グループウェアソフト側から業務デザイナーの起動やワークフローの要求件数を確認することができます。

グループウェア連携とは

グループウェアソフトに指定の URL と業務デザイナーに存在するユーザーのユーザーID を設定することで、グループウェアソフト側から指定したユーザーのワークフロー要求件数画面の表示やログイン状態での起動が可能となります。

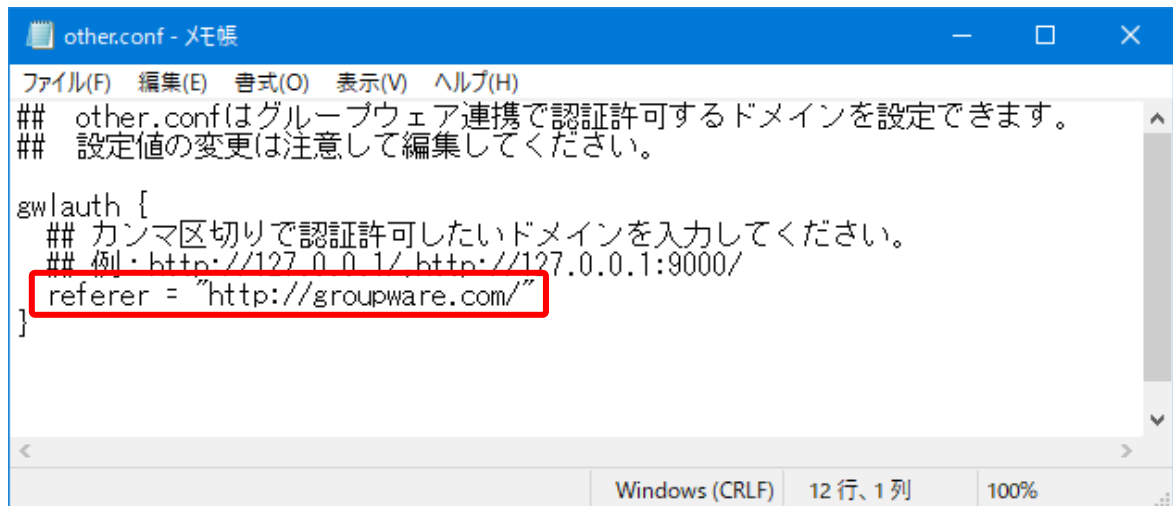
グループウェア連携を行うには業務デザイナーとグループウェアソフトの両方で設定が必要です。

1. アクセスを許可する参照元を設定

特定の参照元에만アクセスを許可するために、サーバーの設定ファイルを更新します。

【インストールドライブ】:¥app¥conf¥other.conf を開き、赤枠部分にグループウェア連携を行いたいグループウェアのドメインを設定します。

【other.conf ファイル】



```
other.conf - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
## other.confはグループウェア連携で認証許可するドメインを設定できます。
## 設定値の変更は注意して編集してください。

gwlauth {
    ## カンマ区切りで認証許可したいドメインを入力してください。
    ## 例: http://127.0.0.1/ http://127.0.0.1:9000/
    referer = "http://groupware.com/"
}
```

2. 埋め込み表示を許可する参照元を設定

特定の参照元により埋め込み表示を許可するために、サーバーの設定ファイルを更新します。

※グループウェアソフトに埋め込み表示を行わない場合は設定不要です。

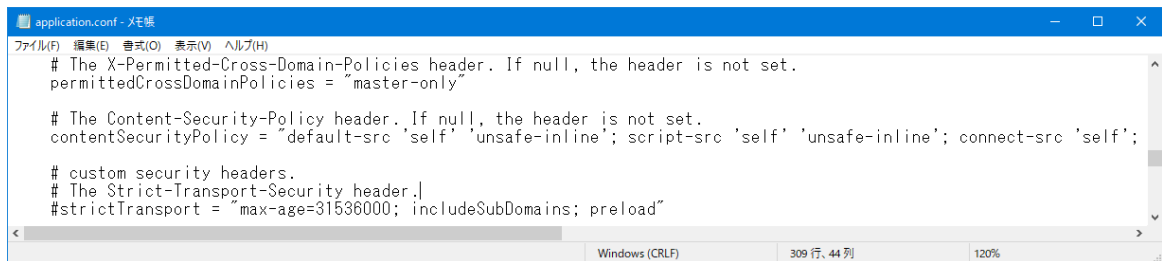
【インストールドライブ】:¥app¥conf¥application.conf を開き、「contentSecurityPolicy」項目の赤字部分に埋め込みを行いたいグループウェアソフトのドメインを以下の形式で追記します。

【入力形式】

- frame-ancestors 'self' http://xxx.xxx.xxx.xxx/;

※「http://xxx.xxx.xxx.xxx/」部分はグループウェアのドメインに置き換えます。

【application.conf ファイル】



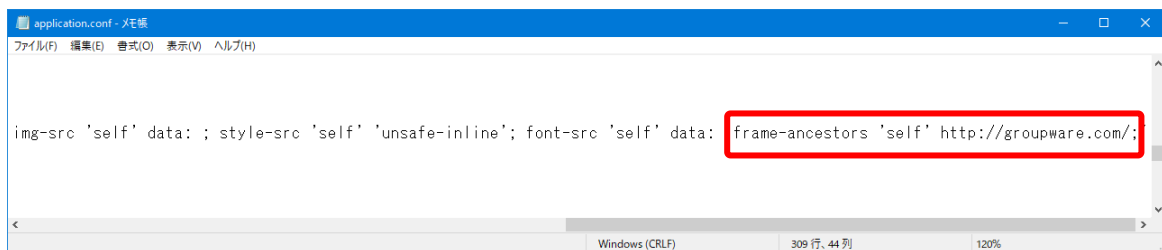
```

# The X-Permitted-Cross-Domain-Policies header. If null, the header is not set.
permittedCrossDomainPolicies = "master-only"

# The Content-Security-Policy header. If null, the header is not set.
contentSecurityPolicy = "default-src 'self' 'unsafe-inline'; script-src 'self' 'unsafe-inline'; connect-src 'self';"

# custom security headers.
# The Strict-Transport-Security header.
#strictTransport = "max-age=31536000; includeSubDomains; preload"

```



```

img-src 'self' data:; style-src 'self' 'unsafe-inline'; font-src 'self' data:; frame-ancestors 'self' http://groupware.com/;

```

👍ポイント 設定ファイルの更新時の注意点

- 既定の入力形式に合わせる必要があります。

設定ファイルの設定項目にはそれぞれ、入力形式が決まっています。入力形式が守られていない場合はbd サービスが起動できない恐れがありますので、ご注意ください。

【例 1】

referer = “http://groupware.com/”

※「項目名 = “任意のドメイン”」

任意のドメインを「」(ダブルクォーテーション)で囲む。

【例 2】

contentSecurityPolicy =

“font-src 'self' data:; frame-ancestors 'self' http://groupware.com/;”

※「項目名 = “1 つ目の設定値; 2 つ目の設定値;”」

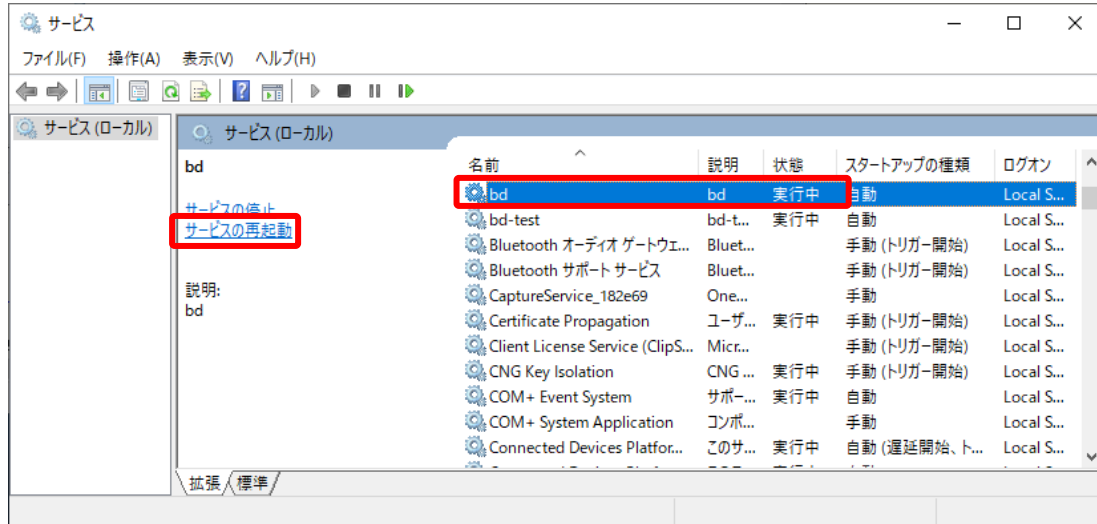
各設定値の最後に「;」(セミコロン)を入力する。

3. サービスの再起動

サーバーの設定ファイル更新内容を反映させるためにサービスの再起動を行います。

Windows サーバーの場合

- サービス画面から「bd」サービスを再起動する



CentOS サーバーの場合

- 以下のコマンドを実行する。

「systemctl restart bd」

```
[root@centos76 ~]# systemctl restart bd
```

4. グループウェアソフト側の設定

グループウェアソフト側でグループウェア連携用の URL を設定します。

※グループウェアソフト毎に設定方法が異なりますので確認して、設定してください。

【グループウェア連携用の URL】

- [http://\[業務デザイナーのドメイン\]/groupwareLinkage/\[ユーザーID\]](http://[業務デザイナーのドメイン]/groupwareLinkage/[ユーザーID])

※末尾のユーザーID に紐づくユーザーが、ワークフロー要求件数表示の対象ユーザーとなります。

ワークフロー要求件数画面

1. グループウェアソフトからワークフロー要求件数画面を表示する

【ワークフロー要求件数画面】


業務デザイナーワークフロー要求件数 (最終更新時間: 14:55:48)

※最新状況を表示するには、ブラウザの更新ボタンを押してください

①作成途中の帳票 : **26件**
 ②承認要求 : **1件**
 ③差戻された帳票 : **3件**
 ④その他(通知など) : **9件**
 ⑤ **業務デザイナーを別ウィンドウで起動**

【項目の説明】

No.	項目名	説明
1	作成途中の帳票	対象ユーザーが保持している、以下の要求種別の要求の合計件数を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> 作成 保存 申請
2	承認要求	対象ユーザーが保持している、以下の要求種別の要求の合計件数を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> 確認 承認
3	差戻された帳票	対象ユーザーが保持している、以下の要求種別の要求の合計件数を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> 差戻
4	その他(通知など)	対象ユーザーが保持している、以下の要求種別の要求の合計件数を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> 通知(通知、差戻通知) 指示(申請指示、通知指示、起動指示、通知コメント入力) 起動
5	業務デザイナーを別ウィンドウで起動	クリックすると、別ウィンドウで業務デザイナーが開かれます。

ポイント [業務デザイナーを別ウィンドウで起動]ボタンクリック後の画面遷移について

[業務デザイナーを別ウィンドウで起動]ボタンをクリック後の画面遷移先は Part11 オプション導入有無で異なります。

● 【Part11 オプションを導入済みの場合】

ログイン画面へ遷移します。

● 【Part11 オプションを未導入の場合】

対象ユーザーのログイン後の画面へ遷移します。

書 名：業務デザイナー 機能説明書（ワークフロー要求件数編）

発行元：株式会社ユニオンシンク

発行日：2023 年 9 月 19 日

©2023 Unionthink Co., Ltd.